

温故創新

豊中らしさを創る

Vol.6

編集・発行／豊中から日本を動かす会

<http://matsuoka-akimichi.net>

office@matsuoka-akimichi.net

【一問一答インタビュー】

《問》当選を実感したのは？

《答》翌朝の新聞を見た後、自分が載っていたので、当選を実感しました。

《問》議員になったと自覚したのは？

《答》市長とお話したとき。当選翌日、ご挨拶に伺ったら、お話しただけだったので、議員になったんだと思いました。

《問》選挙で一番の出来事は？

《答》選挙カーと一緒に走ったこと。一番辛かったのは、蛍池から庄内までの間。友達が一緒に走ってくれたのが、感動的でした。

《問》どうしてラグビージャージ？

《答》政治家が当たり前のように、スーツだったので。政治家のイメージを変える、誰もが話しかけやすい政治家を創るって考えたときに、思いついたスタイルです。もう一つの事情は、ブログで書きたいと思っています。

《問》今の感想は？

《答》私の名前を書いでくださった二七九一票が、本当に重く感じます。いただいた期待に応えられるように一生懸命働きます。

《問》今後の意気込みは？

《答》「温故創新」の実現のため努めてまいります。広く開かれた市議会、そして魅力ある豊中市を、みなさんと一緒に創っていききたいと思います。今後とも、なにとぞよろしくお願いいたします。

松岡あきみちと、もっと市議会！

「市議会ってどこにあんの？」「市議会議員って何してるの？」という素朴な疑問。市議会は市役所にありますし、市議会議員は東奔西走しています。もっと市議会を身近に感じていただく取り組みとして、「ふれあいタイム」を議員活動の一つに位置づけたいと思います。

市役所議会棟1F受付でお待ちしています。色々とお話ししましょう、お気軽にお越しください。

☆ちょっと気ままに、ふれあいタイム☆

毎週火曜日 10時～11時30分（祝日を除く）

第一庁舎

議会棟

受付

至豊中 176号

※議会や出張などで不在の場合がありますので、在庁をご確認いただくと確実です。市役所代06-6858-2525

豊中市政30年ぶりの新会派「ネクスト豊中」結成

豊中市は市制施行70周年を迎えました。そして、71年目のスタートにおける選挙で約3分の1となる11人の新人議員が誕生しました。これを市政刷新の世論として捉え、党派の分け隔てなく、広く開かれた市議会を希求して新しい

会派を結成しました。新会派は「ネクスト豊中」と称し、市政史を学び、古きよきものを残しながらも、固定観念に捉われず、新しい市政を創ることに挑戦していきます。そして、現代に生きる私たちが、安心、安全、安定した生活を享受できるようにし、次世代市民の生活を保障できるように努めてまいります。ネクスト豊中ともども、ご指導ご支援いただけますよう、よろしくお願いいたします。

幹事長 栗原貴子

公認会計士と税理士の資格をもつ知的派議員。

会計 北之坊晋次

府議秘書の経験をもつ経験派議員。

庶務 松岡信道

新会派結成の仕掛人、行動派議員。

松岡あきみち 豊中市議会議員(最年少)

- ・ しんでん幼稚園→南丘小学校→第九中学校→北野高校→同志社大学法学部政治学科。小、中、高校で生徒会長、豊中市中学生シンポジウム実行委員長を務める。
- ・ 池田市長、北摂の国会議員、地方議員のもとで政治の現場研修。
- ・ 箕面市公共下水道事業運営審議会委員、教育NPO代表として市民活動に従事。
- ・ 大阪府信連職員を経て、最年少で豊中市議会議員となる。新会派「ネクスト豊中」を結成。
- ・ 休日の顔は豊中ラグビースクールコーチ。平成17年度毎日農業記録賞で地区入賞を受賞。



とよなか創政記

「党派と会派」 松岡あきみち

選挙での「無所属」候補者、「無所属」とはどういうことでしょうか。政治は政党によって行われていますので、多くの政治家が政党に属しています。これを一般的に「党派」といい、党派のない議員を「無所属」と言います。

しかし、市議会において重要になってくるのが、「会派」です。議員は一人では活動が制限されるため、会派に属することが求められます。豊中市議会は左表のような会派構成になっており、党派の影響を強く受けていますが、党派と会派は一致しません。

《会派》	《党派》
公明党	公明党
日本共産党	日本共産党
新政とよなか	民主党（民社党系）
自由民主党	自由民主党
市民クラブ	民主党（社会党系）
ネクスト豊中	党派なし
党派なし	党派なし
	3名
	3名
	3名

※ 「新政とよなか」には無所属議員2名を含む。
 ※ 「市民クラブ」には社民党議員1名を含む。

会派の構成人数が、民意として市政に反映されており、市議会議長も最大会派から選出されることが一般的になっています。しかし、今の会派構成が本当に民意なのでしょう。投票率40%の問題点がそこにあります。60%の声なき声は「現状を信任している」と政治の現場では判断されています。

この現状を鑑みて、豊中市に30年ぶりと

る新会派「ネクスト豊中」を誕生させました。市政に求められている「変化」の民意を実現するため、既存の会派に属するのではなく、温故創新の実現、第一弾です。

会派を創るメリットは①議院運営委員会や幹事長会議など権能ある会議へ参画できる②代表質問の質問時間に制限がない（会派なしの議員は10分）③会派としての部屋が与えられる④理事者からの議案説明が充分になされる、などが挙げられます。

したがって、私にとって会派に所属さない議員となる選択肢はありませんでした。私がいただいた二七九一票に対する責任を果たす、そして二七九一票を最大限に活かす。それが新会派結成であり、議会政治のルールに従った変革だと考えています。

ネクスト豊中は、議会の中で会派として新しいことをはじめていきたいと思えます。そして政策面では、党派分け隔てなく、協調して豊中のために活動していきます。

豊中市の公教育を受けて、ここまで育てていただいた私は、最年少の市議會議員として豊中のために努めていく所存です。豊中が生んだ政治家として、党派分け隔てなく、市民の皆様にはきつづき育てていただきました。よろしくお願い申し上げます。



※ご意見ご感想をお聞かせください。
 FAX:06-6871-0632 (後援会事務所)
 Mail:office@matsuoka-akimichi.net

◇ボランティア大募集◇
 「温故創新」の配布や、事務作業などのお手伝いいただけませんか？配布はご近所の数件でも数十件でも結構です。無理なく、気持ちよく、可能な範囲で応援をお願いいたします。一緒に豊中づくりをはじめましょう♪

◇松岡あきみちの思いを聞いていただける方、お話を聞かせていただける方、お声かけください◇
 松岡あきみちがお伺いします、一緒にお話ししましょう。(携帯 090 - 5675 - 4980)

豊中市だけの世論、つまり豊中市民の声を調査するような機会は、今までほとんどありませんでした。そこで、松岡あきみちの活動をお知らせするだけでなく、「こんなことに取り組んで欲しい！」という声を聞き、これからは双方向の関係を創っていきたく思います。

地元の世論調査

以下のアンケートにお応えいただき、切取線で切り離して、街頭で手渡ししていただくか、FAX (06-6871-0632) にてご送信ください。

これからの豊中づくりのため、まちづくりのあたらしい手法を成功させるため、ご協力よろしくお願ひします。

Q1.あなたについて教えてください。 男性・女性 10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上

Q2.タバコやゴミのポイ捨てが問題になっていますが、ポイ捨てに対してどのように考えますか。

例 市として取り組むべき ご意見欄 {
 個人のマナーの問題だ

Q3.その他、自由にご意見ください。 {